

令和5年度 第2回横浜市創造界限形成推進委員会

次 第

日 時：令和5年11月24日（金）

10時00分～12時00分

場 所：18階共用会議室みなと1・2・3

議題

1 審議事項

「旧第一銀行横浜支店」運営事業者の公募について

2 その他

資料

① 次第

② [資料1] 委員名簿

③ [資料2] 前回議事録（令和5年7月26日開催分）

④ [資料3] 「旧第一銀行横浜支店」運営事業者の公募について

⑤ [参 考] 「夜にあらわれる光の横浜<ヨルノヨ2023>」関連資料

委員名簿

氏名	所属団体(役職名)		出欠
野原 卓	横浜国立大学大学院	准教授	○
六川 勝仁	馬車道商店街協同組合	理事長	○
遠藤 新	工学院大学建築学部	教授	○
岡本 純子	公益財団法人セゾン文化財団	プログラム・オフィサー	○
菅野 幸子	アーツ・プランナー／リサーチャー		○
治田 友香	関内イノベーションイニシアティブ(株)	代表取締役社長	欠
日沼 禎子	女子美術大学 芸術学部	教授	○
簗谷 則美	(株)ミノヤアソシエイツ	代表取締役	○
山口 真樹子	国際文化交流・コミュニケーション		欠

令和 5 年度第 1 回横浜市創造界限形成推進委員会会議録	
日 時	令和 5 年 7 月 26 日（水） 10 時 00 分～12 時 05 分
開催場所	横浜市役所 17 階共用会議室 S 01
出席者	野原委員長、六川副委員長、遠藤委員、岡本委員、菅野委員、治田委員、日沼委員、 簗谷委員、山口委員、恵良氏
欠席者	なし
開催形態	一部非公開
議 題	1 審議事項 (1) 令和 4 年度事業評価について (2) 旧第一銀行横浜支店の運営団体公募について 2 その他
決定事項	
事務局	<p>【開会】 ○令和 5 年度第 1 回横浜市創造界限形成推進委員会を開催する。</p> <p>【挨拶】 ○にぎわいスポーツ文化局文化芸術創造都市推進部長から挨拶が行われた。</p> <p>【事務局紹介】 ○人事異動に伴う事務局紹介が行われた。</p> <p>【資料確認】 ○配付資料の確認が行われた。</p> <p>【定足数の確認】 ○委員 9 名中 9 名（うち 4 名、オンライン）が出席しており、委員会の成立となる。</p> <p>【会議の公開・非公開】 ○本会議は横浜市の保有する情報の公開に関する条例第 31 条により原則公開となるが、審議事項（2）については、同条例第 7 条第 2 項に基づき非公開とすることについて、了承。</p> <p>1 審議事項（1）令和 4 年度事業評価について <事務局より説明が行われた。></p>

		【質疑応答・意見交換】
	日沼委員	○改めて今日、全体の拠点の活動を眺めて、本当にこの長い間培ってきたノウハウや成果が出てきていることがある一方で、全体的に閉塞感を感じるというか、継続が最優先事項になっている印象を持っている。もちろん拠点を運営すること自体が次の世代につながることになるわけだが、パンデミックの3年間を経て、いろいろな価値が動き出しているときに、思い切った変化が人材も含めて必要になってきている。本当に過渡期なのではないかと思っている。 そのため、どうやったら未来志向で活性化していけるのかということを実際に考える時期になったのではないかというのが、全体を通しての印象。
	事務局	○御指摘いただいたように、次の時代に合う形で、これまでやってきたことのいいところは生かしつつも、ドラスティックに変えないといけない、今、正にそういう時期に来ていると思っており、庁内でもそういったことを議論している。局が新しくなり、創造都市として何を求めていくかということも再定義しながら、拠点の在り方も考えたいと思っている。
	菅野委員	○局あるいは庁内の体制が変わってくると、基本方針となる目的も、当然変わってくると思う。今後、創造都市というキーワードが引き継がれていくのか、あるいは新しいコンセプトを作っていくのか、そういった全体の方針とも関わってくると思うが、やはり全体の見直しがあり、それに伴って評価項目も少しずつ変化していくのではないかと推察するが、そういったことも踏まえ、これから評価や事業全体を考えていく必要があるのではないかと。
	事務局	○ここ10数年施策を推進してきたが、創造都市が目立ったわけでもないというのが、庁内の受け止めも含めた正直なところ。創造都市をどう考えていくかということ、コンセプトをきちんと変えていく必要があると思っている。 それを今、正に庁内で検討している中で、拠点の評価も別々にセグメントしてやっていくことがいいのかと、問題意識を持っている。もう少し委員会の在り方も含めて考え方を議論したほうがいいのではないかと、庁内で議論をしている。その中で、各委員も同じような疑問を持っていらっしゃるということが今日分かった。創造都市を横浜の将来の発展につなげていく観点で、相談させていただければと思う。
	野原委員長	○評価自体の在り方、この委員会の在り方が変わるかもしれないということか。
	事務局	○新しい価値の中で、創造都市として進めていくべきところが変わると、それに伴い評価のやり方についても変わるのではと思う。
	野原委員長	○それ自身は今後の委員会での議題になるということか。

<p>事務局 野原委員長</p>	<p>○庁内での検討結果を踏まえ、案を作り、御相談していく。</p> <p>○一方で、各分科会で丁寧に議論を積み上げ、評価をいただいているので、委員会でも安心して評価できているという実態がある。その辺りも含め、改めてこの評価自体を評価するということをしていただくのが良いと思うし、変わるところと、やはり変えてはいけないところもあるので、どこが骨で残る部分で、どこが次世代を見つめて変えていくべき部分なのかということも併せて検討いただき、方針の大きな方向性や骨格を決める必要があると思うので、それはゆくゆく議論されるという理解でよろしいか。</p>
<p>事務局</p>	<p>○庁内からは、創造都市の取組が、特定の人のためにやっているのではないかという見られ方をしており、そういった中で、特定の人向けにやりながらも、一般の方々にとって波及効果があるということ、分かりやすく説明していくのか、それとも、ある程度創造都市の枠組みを開放して、アートに偏らないやり方でやっていくのかなど、様々な角度から議論をしている。</p>
<p>野原委員長</p>	<p>○2004年の提言には、市民に向けて創造都市づくりをやりますと書いてあったが、それを具体化するすべが示されていないということなのだと思う。全体の評価の仕組みとして、現状の目標では足りないということなのか等、その辺りがもう少し深く分析できると、次に向けてのステップになる気がしたので、是非その辺りを検討いただきたい。</p>
<p>菅野委員</p>	<p>○日沼委員もおっしゃっていた通り、次へのステップが必要だと思うが、拠点の事業が庁内でどこまで評価されているかという、こういった事業の意義の見える化が難しいところだとは思う。</p> <p>一方で、拠点のアート界における評価は、これまで一定の評価を得てきた。拠点のあるなし、ビフォー・アフターで考えると、アートの世界においては、拠点ができたことによって、横浜市のプレゼンスは、確実に増したのではないかという評価はできると思う。</p> <p>ただ、同じような事業の繰り返しになってしまうと、やはり広がりや市民への訴求力に欠けることに繋がる。あるいは、その発信力や魅力の部分で、運営者の方々は運営することでいっぱいになってしまい、より開かれた組織の在り方とか市民との協働というところまでたどり着かない傾向があるのかもしれない。</p> <p>またコロナ禍で活動を停滞せざるを得なかったところもある。今、世界中で価値観や考え方が変化し、将来に対して非常に不安定なこの時代において、創造力というキーワードが、世界のキーワードになっている傾向には変わりはないが、それに向かって、地方自治体等がどういうふうに変わっていくべきか、社会全体が変わっていくべきかというのが、突きつけられていると思う。</p> <p>そういったいろいろな文脈において、横浜市での拠点の位置づけは、</p>

	<p>野原委員長</p> <p>遠藤委員</p>	<p>やはり再確認する必要がある。是非庁内で御検討いただければと思う。但し、これまで実績をつくってきたということは、改めてここで申し上げておきたい。</p> <p>○実績で掲げてきた部分と変えていく部分を整理していただくということなので、それはまた改めて議論できる場が用意いただければ。</p> <p>○今の議論に関連して、大きな方向性として、時代に合わせて変えていくことは私も大賛成。市民に対してこれまでやってきたこと、これからやっていくことをどうやって提供していくかということも、とても大事な視点。</p> <p>一方で、委員会は、分科会での評価があつて、分科会の議論を共有していくことがメインだが、そもそも創造都市全体としてやっていることは、分科会で議論されている取組だけではないと思う。委員会では分科会での内容しか見えないから、拠点としてやっていくことと、それ以外のこととのバランスを議論しようと思つても、適切に議論する材料が整っていない気がする。これまでも、市民向けにいろいろ開いたり、サービスをすることを意識した議論や取組をやってきたとは思ふ。</p> <p>委員会の中でも、これまで、各拠点でできないことを、事務局に対して、創造都市全体としてやってほしいというお願いをしてきた。分科会でやっていることの外側でやっていることも含めての創造都市であり、例えばトリエンナーレやスマートイルミネーションがこういう事業になったとか、全体の中で、どうやって市民に対して創造都市の価値を提供していくのかという議論を、この場でやるのか、違う場なのか、そもそも分からないが、そういう土俵の中で、この分科会が何を守って、何を变えていくのかということの評価できると良い。</p>
	事務局	<p>○我々の一番の悩みは、これまで、走ってきたつもりだったが、政策議論ができてこなかったということは今突きつけられている。これまでの積み上げもたくさんあるので、きちんと肉づけできる座組みを、今、正に検討しているところ。</p>
	野原委員長	<p>○このような話は毎回出てくるが、実際は何も変わっていない状況なので、改めて全体を整理していただき、どういう形があるべきかを逆に御提示いただいた上で、またそれに対して議論できるといいと思つている。</p>
	岡本委員	<p>○創造都市施策を見直すに当たり、変えるべきではないことがあることを踏まえて言うと、拠点の性質上、直接的には一部の人にしか利用していただけないというのは、これはもう拠点の目的からして致し方ない。そうでないと、逆に目標としている効果を上げられないところがある。</p> <p>ただ、物理的、直接的には一部の人しか利用できないかもしれない</p>

	治田委員	<p>が、では一部の人だけのものなのかということでは決してなく、それを通じて、より広い、様々な方の利益になっているはずなのだが、それが伝わっていない、理解されていないということだと思う。そこは前々から問題になっているし、あれこれやっつけていながらうまくいっていないということではあるが、またもう一步踏み込んで、改めて全体と併せて考え直してみる必要があると思う。</p> <p>○この委員会で考えていることも含めてもう1回見直すということは、折々に共有されてはいるが、全体としてどういうスケジュール感か、どういうプロセスで確立していくのか、どのタイミングで委員会にフィードバックを求められるのか、求められないのか、そこが明確でないと感じる。</p> <p>創造都市という横浜市の政策に、民間がどう関わっていくかという議論の中で、民間としてやっていきたいことと、行政として突き詰めなければいけないことの役割分担や評価の仕方、目的がぶれるため、議論する中で非常に曖昧なやり取りに終わっているような気がしている。やはりこれだけ積み重ねてきたものをきちんと評価しつつ、本当に何を求めていくのかを、概念も含めて、明確にしていだければと思う。</p> <p>恐らくここにいらっしゃる委員の方々は、皆さんそれに貢献したいと思って参加されていると思うので、そこをもっと効果的に、どうしたらいいのかを考える機会をつくったほうが良いと思った。それが役割だとすれば、だが。そこも教えていただければ。</p>
	六川副委員長	<p>○クリエイティブシティ・ヨコハマの取組には初期からずっと関わっているが、個人的にはよくやっていると思う。限られた市民かもしれないが、市民の力の活用とか参加には非常に寄与しているのかなと。ただ、その部分についてはよく皆さんの議論に出てくるが、広報が足りないと思う。こうすれば市民が参加できる、ということを広報として発信していけば、その辺はある程度補えるのかなと。</p> <p>委員会が分科会の報告会になってしまっていて、時間も限られている中で、それ以上の議論がなかなかないが、時代に合わせて変えていくことはすごく大切だと思っている。THE BAYSの報告を聞いて思ったが、これから関内の環境が大きく変わる。2年後には旧市庁舎街区が完成する。THE BAYSの基本方針を見てみると、日本大通り地区のにぎわい創出を図るとなっているが、日本大通り地区でなく、関内・関外地区に変えていくなど、例えば時代の変化とともに、基本方針も少し変えていく必要があると思う。スポーツタウン構想というのを前から言っているわけで、もっと積極的な行動をしていただくような仕掛けを、この分科会、あるいは委員会でアプローチしていくことも必要だと考える。</p>

	菅野委員	<p>それは各施設にとっても同じこと。時代に合わせて変えていくことが必要。創造都市の取組は、決して悪い取組ではなく、庁内をまとめるには、今、すごくいい機会だと思う。</p> <p>○評価は、具体的に何が変わっていったかが重要。事業の改善に向けた評価というのが、評価の本来の目的なので、具体的に变化したことの見える化を、箇条書きではなく、具体的なポイントとして落とし込み、分かりやすい形で評価ができて、少しずつ進化していることが見える形にしていかないと、分かりづらさというのはずっと残ってしまうので、評価の在り方や、何を求めるのか、そういったことをもう一度再考する必要があるのでは。</p>
	山口委員	<p>○先ほど六川副委員長がおっしゃったこと、私も本当にそうだと思う。これまで何度も言われてきたが、創造都市として拠点も含めた全体の取組として、何をやろうとして、これまで何をやって、これからどうしようとしているのかという全体の広報がやはり必要とされていると思う。今後、広報案のようなものを是非、市から提案いただければ、私たちも案が出せるかもしれないし、一度そういった試みをやっていたけるとよい。また個人的には、是非、国際広報等もやっていただきたい。</p>
	恵良氏	<p>○全体の政策論も大切だが、まず、今、拠点の事業評価が中心になるので、ここは専門家のお力が非常に重要となる。ただ、委員会の目的は創造界限形成推進のため、創造界限というエリアでの担い手にはアーティスト、クリエイターもいるが、企業、市民もいる。担い手・プレイヤー相互を、どう協働の形に持っていくかという視点での議論は必須である。創造界限はその場所に根づく活動であり、エリアマネジメントに近い概念の側面もある。そのため、大きな政策とは少し違うが、その場所ならではのものを生み出していく仕組みを横浜で行うこと、その意味での創造界限だから、それぞれの町内会等も意識して議論を進めなければならない。</p> <p>その上に、創造都市政策の都市計画的な視点が大切だと思う。できれば、都市計画を超えて、都市経営的な感覚が必要であり、マネジメント概念等も含めた議論をしていく必要がある。全体の都市経営、例えば都心部をどう捉えるか、創造界限は旧都心部だけでいいのか、みなとみらい地区をどう捉え直すのかも含める議論もあるかもしれない。</p> <p>新しく出てきたクリエイターで、そこからビジネスを立ち上げている方々や、アーティストとして成長している方々もいる。そういうエリアの変化や、活動の核になる拠点として、どういう事業が評価されるべきか。それが評価軸の話につながると思う。そのような全体を視野に置いた委員会の在り方を議論されているのであれば、今求めら</p>

	野原委員長	<p>れているこの政策の編集の在り方や発信の手法も選択すべきなので、ある程度広報のプロのノウハウが要るかもしれない。</p> <p>ただ、大きく言えるのは、市民、企業という方々を担い手の中に入れ込む議論が、都市経営や創造界限と言ったときに重要になる。その際、その政策論の核になる文化度や芸術論の話は必須となる。そこをしっかりと事業評価をしていくうえで、全体のフレームの議論が必要となろう。あるいは、こうした場で委員の意見を聞いてみるなどして方向性を整理するのは意味があると思う。今日は非常に幅広い意見が出されているので、是非それをうまく昇華していただきたい。</p> <p>○大きい議論は引き続き行うこととし、まず、本日の審議事項である令和4年度の事業評価について、これによろしいか。</p> <p style="text-align: center;">(了承)</p>
	野原委員長	<p>○創造都市施策の方向性については、庁内で検討いただいているので、全体のフレーム再編に関するところは一度整理していただき、その後、議論できる機会を設けていただきたい。</p> <p>また、これも今までずっと言われ続けていることだが、この場が創造界限拠点のための委員会という建付けになっているため、拠点以外のことがこの場で議論できない。しかし、創造都市施策全体の議論がないと、解決できない問題が拠点側にもあるというのが実態だと思うので、全体をもう1回整理し、提示いただいた上で、改めてじっくり議論する場を設けていただきたい。</p> <p>場合によっては、委員会の議論だけでは収まらない気もするので、個別ヒアリングを行うなど、やり方も含め検討いただきたい。ただ、今日はそれを超えた大きな議論があったので、そこも含めて整理いただきたい。</p> <p>拠点で出てきた課題を、拠点以外で解く方法もある気がする。そのため、やはり創造都市政策全体の中で拠点はどういう位置づけで、それ以外の事業や活動も含めた中でどう考えていくかということも併せて考えていただきたい。</p> <p>時代の変化の件に関しても、私自身、THE BAYSの分科会の議長をしているが、他の拠点とは枠組みが全く違い、賃貸借のため、そもそも評価の在り方が異なるのでは、という意見が、分科会では上がってくる。つまり、併走するプレーヤーとともに考えていくことが重要であり、評価という枠組み自身が合っていないという意見である。そういうことも含めて評価の在り方自身も、検討いただきたい。</p> <p>以上、局名が変わったこのタイミングで、1回整理していただき、提示いただく場を設けていただきたい。</p>

	<p>審議事項（２）旧第一銀行横浜支店の運営団体公募について <事務局より説明が行われ、議題について審議が行われた。></p> <p>２ その他 <事務局から、情報提供が行われた。></p> <p><事務局から議事録の確認依頼や今後のスケジュール等について、事務連絡が行われた。></p> <p>【閉会】</p>
資 料	<p>①次第 ② [資料 1] 委員名簿 ③ [資料 2] 前回議事録（令和 5 年 3 月 8 日開催分） ④ [資料 3] 令和 4 年度事業評価シート ⑤ [資料 4] 旧第一銀行横浜支店の運営団体公募について</p>
特記事項	

ヨルノヨ

YORUNOYO 2023

ヨルノヨ

夜にあらわれる光の横浜

2023.11.27 | 月 |
 2024.1.4 | 木 |
 17:00 - 21:05



場所 || 横浜都心臨海部

新港中央広場
 横浜港大さん橋国際客船ターミナル
 山下公園 ほか

【入場無料】



ヨルノヨ

主催 | クリエイティブ・ライト・ヨコハマ実行委員会 共催 | 横浜市 連携 | クリエイティブ・ライト・ヨコハマ推進協議会 問合せ先 | クリエイティブ・ライト・ヨコハマ実行委員会事務局 TEL 045-323-9142 E-mail: info@yorunoyo-yokohama.jp

協賛



特別協力 ※五十音順



【協力】アパホテル株式会社 NHK横浜放送局 株式会社NTTドコモ/株式会社NTTファシリティーズ 株式会社Evolving G オークウッドスイーツ横浜 神奈川県 神奈川県警察 神奈川県民ホール(公益財団法人神奈川県芸術文化財団) 株式会社クワハラ(タクシーユン) 株式会社Kアリーナマネジメント 有限会社サウンドデザイン・ジャパン ザ・カハラ・ホテル&リゾート横浜 株式会社産業貿易センター 資生堂グローバルイノベーションセンター(S/PARK) シタディンハーバー(フロント横浜) NIT都市開発株式会社 泉興興業株式会社/とこまコスモワールド 相鉄グループ 一般財団法人日本船員厚生協会 日本郵船株式会社 パシフィック横浜(株式会社横浜国際平和会議場) 公益財団法人帆船日本丸記念財団 ヒューリック株式会社 Bar & Lounge Melody(ヒルトン横浜) 株式会社ポートサービス 株式会社ホテル・ニューグランド 丸紅プライベートリート投資法人(MMテラス) 三井不動産レジデンシャル株式会社 三菱地所株式会社 株式会社横浜インポートマート 横浜北仲ノット団地管理組合 横浜港大さん橋国際客船ターミナル(一般財団法人横浜港振興協会) NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ 横浜桜木町ワシントンホテル 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 NPO法人横浜シティガイド協会 よこはま新港合同庁舎 横浜税関 横浜ハンマーヘッド(新港ふ頭客船ターミナル株式会社) 株式会社横浜ビール ヨコハマフードラバース 株式会社横浜ベイホテル東急 横浜ホテル創作カクテル実行委員会 横浜マリンタワー(リストグループ) ヨルノヨ・バル街2023実行委員会 ラクスフロント(五十音順)

イルミーヌ・ヨコハマ 2023 ~横浜の未来が輝く~

illumine Yokohama

共催

2023年12月1日 - 12月30日 17:00-21:00
 2023年12月31日 17:00 - 翌1:00頃まで(カウントダウンイベントあり)
 場所 || 山下公園 【入場無料】
 企画デザイン 石井幹子+石井リーサ明理

世界的に著名な照明デザイナー石井幹子と、パリを拠点に活躍する石井リーサ明理。世界で絶大な評価がある母娘デュオが、横浜の冬の光を創ります。山下公園・おまつり広場を中心に、新しいライトアート作品と音のコラボレーションを展開。光のプロムナードも出現し、ダイナミックで幻想的な作品が織りなす、未来の輝きをお楽しみ下さい。



新港中央広場や横浜港大さん橋国際客船ターミナルでの大規模なプロジェクションマッピング、山下公園全域で展開するイルミネーション、街全体が光と音楽にあわせて躍動するスペクタクルショーなど、冬の夜に美しい光の横浜があらわれます。一年で一番の港の輝きを、ぜひご覧ください。

ハイライト・オブ・ヨコハマ Highlight of Yokohama

過去最大40施設の参加による、街全体が光と音楽で躍動する5分間のスペクタクルショー。

横浜の都心臨海部を巡ることで、新しい夜景と出会い、港と光と音楽が混ざりあう瞬間（ハイライト）を体感してください。

場所：横浜都心臨海部 メインビューポイント：横浜港大さん橋国際客船ターミナル

時間：（各5分）17:30/18:00/18:30/19:00

19:30/20:00/20:30/21:00



Yコンテナ Y-Container

「ハイライト・オブ・ヨコハマ」を音楽と一緒に楽しめるビューポイント。

場所：臨港パーク | 横浜ハンマーヘッド | 汽車道 | 象の鼻パーク

Yキューブ Y-Cube

場所：新港中央広場



来場者の動きに呼応する、100mを超える国内最大級のインタラクティブ・プロジェクションマッピング。新港中央広場に現れた巨大なキューブを中心に広がる体験型デジタル・アートの中に身を置くことで、あなたも演出の一部に。

時間：17:00～21:05

Yターミナル Y-Terminal

場所：横浜港大さん橋国際客船ターミナル（大さん橋屋上広場）



波打つようなウッドデッキに光が広がる、海の上のプロジェクションマッピング。陸から突き出た“大さん橋”は、横浜が誇る夜景の特等席にして「ハイライト・オブ・ヨコハマ」を最大限楽しめるメインビューポイント。

時間：17:00～21:05



アートプログラム

夜だからこそ楽しめる光とアートプログラム 水の町プロムナード

横浜ならではの雰囲気味わえる水辺と通りを舞台に、子どもも大人も楽しめるアートやパフォーマンスをご覧ください。光あふれる冬の夜に、港町の歴史と文化に触れながら“あるき・あそび・かんじる”特別な10日間をお楽しみください。

期間：12月8日～17日

場所：水町通り | 象の鼻パーク | 象の鼻テラス ほか



馬車道プロジェクション

神奈川県立歴史博物館（国指定重要文化財）の馬車道口の壁面に、東京藝術大学大学院映像研究科の学生・修士が制作したアニメーション映像を投影します。

重要文化財と映像が織りなすアートを、足をとめてご覧ください。

期間：12月5日～8日 時間：18:00～21:00

場所：神奈川県立歴史博物館



開催期間
2027年3月～9月

開催場所
横浜・上瀬谷



水町のドム叫

ヨルノヨ アートプログラム

PROGRAM MAP

2023
12/8 - 17

港町・横浜の夜を あそぶアートイベント。 子どもも大人も楽しまないとい!!

横浜・海岸通りと水町通り。開港後に世界とつながったこの通りは、多くの作家や画家に愛されてきました。戦後経済を支えた港は時代とともにその姿を変え、子どもたちの笑い声が響く水辺の公園として賑わい、一本通りを入れればバーやファッションの名店が軒を連ね、今も横浜ならではの雰囲気味わえる空間になっています。

ヨルノヨ・アートプログラム〈水の町プロムナード〉は、まちなかの建物、広場、通りを舞台に、美術、映像、音楽、ダンスなどをご覧ください。

光あふれる冬の夜に、港町の歴史と文化に触れながら「あるき・あそび・かんじる」、特別な10日間をお楽しみください。

会期：2023/12/8(金) - 17(日)
会場：水町通り、象の鼻パーク、象の鼻テラスほか
主催：クリエイティブ・ライト・ヨコハマ実行委員会
公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
協力：神奈川県民ホール、象の鼻テラス、BALLPARK FANTASIA、YOKOHAMA MUSIC HARBOR 2023 CHRISTMAS (五十音順)

各プログラムの詳細は
ウェブサイトから→

本事業は一部の電力を日産自動車株式会社の電気自動車「日産アリア」から給電し、脱炭素に配慮しながら実施しています。
本事業は「夜にあらわれる光の横浜(ヨルノヨ 2023)」との連携事業です。
発行：アーツコミッション・ヨコハマ(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)
Design: hush inc.

みヨナルは子どもで ハはシヤどもで

Artist: 原倫太郎 + 原游
照明: Senju Motomachi Souko (原田弥 / 松本大輔)
施工: 株式会社 TAIRiN
協力: 株式会社中川ケミカル

MAP-A

12/8(金) - 10(日) 13:00-21:30 ※雨天中止
象の鼻パーク | MAP-A
無料

横浜をテーマにしたプレイグラウンド型のアートインスタレーション。象の形の巨大な双六、ウォータービレッジ、不思議な卓球台やバスケットゴール! 光の演出を楽しみながらヨルの公園でハシヤげば、知らなかった横浜に出会えるかも。明るい時間も遊べます。

親子で楽しめるDJイベント「まちかどミルクホール」も開催! 出演: DJ 大根(斉藤ネオンサイン)
12/9 14:00-15:00 12/10 14:00-15:00、17:00-18:00

イメージスケッチ: 原游

滞空時間 meets たまくす

Artist: 滞空時間
TAIKUH JIKANG
川村夏平音(ガムラン、声、パーカッション、影絵)
GO ARAI(ヴァイオリン)
さとしゆんこ(声)
AYAI(ベース)
トンチ(スティールパン)
鈴木雄大(トランペット)
あだち麗三郎(サクソフォーン、パーカッション)
HAMA(ガムラン、パーカッション、15日のみ)
角銅真実(ガムラン、パーカッション、声、16日のみ)
協力: 横浜開港資料館、microAction

MAP-Q

12/15(土) (雨天予備日: 12/16(日))
18:30 開演 (開場は15分前から)
象の鼻テラス | MAP-Q
前売券 3,500円 / 当日券 4,000円 (税込、全席自由)
※チケット購入はウェブサイトから

「架空の島の民謡」をコンセプトに、ガムランやスティールパンが響き合うエキゾチックなサウンドと、現代的な影絵が融合した唯一無二のパフォーマンス集団。今回は、文化往來の地・港町横浜の歴史の生き証人と比喩される「たまくすの木」のもので演じます。

Photo: Taiki "tiki" NISHINO

ZOU-NO-HANA FUTUREScape PROJECT 2023 SPECIAL LIVE

Artist: COSMIC JUNGLE
12/9(土) 16:30-21:30
象の鼻テラス | MAP-B
無料

MAP-B

FMヨコハマ「今夜もおきばりさん!」でメインパーソナリティを務めるなかの綾が企画する、子どもも大人も一緒に楽しめる音楽イベント、「COSMIC JUNGLE feat.papico、なかの綾」として、実力派バンドメンバーによる生演奏も行います。

Artist: Choro Club
12/16(日) 19:30 開演 (開場は30分前から)
象の鼻テラス | MAP-C
前売券 4,000円 / 当日券 4,500円 (税込、全席自由)
※チケット購入はウェブサイトから

ブラジルの伝統的な都市型インストゥルメンタル・ミュージック「ショーロ」にインスパイアされながら独自のサウンドを創造する、日本随一のアコースティックブラジル音楽ユニット。本国でも評価の高い彼らの、スペシャルライブをお届けします。

Photo: Midori Nishina

翼をくださいな

Artist: 太めパフォーマンス (乗松薫 鉄田えみ)
演出・振付: 乗松薫
出演: 太めパフォーマンス
照明: 吉本有輝子(真昼)
音響: 吉田めぐみ
衣裳: 藤谷香子(快快)
協力: MAMMUT SPORTS GROUP JAPAN株式会社、株式会社 YAIZOO

MAP-E

12/16(日) 18:30 開演 (開場は15分前から)
両日とも 18:30 開演 (開場は15分前から)
象の鼻テラス | MAP-E
前売券 2,500円 / 当日券 3,000円 (税込、全席自由)
※チケット購入はウェブサイトから

福岡を拠点に活動するコンテンポラリーダンスカンパニー「太めパフォーマンス」。ダンス鑑賞初心者にもおすすめの、泥臭くてチャーミングなカンパニーです。本作「翼をくださいな」では、冒険心を誘うボルダリングジムの背景に、翼を求めて奮闘します。

Photo: Midori Nishina

ZOU-NO-HANA FUTUREScape PROJECT 2023 ツウノハナ・フューチャースケープ・プロジェクト 2023

Artist: 高橋匡太、Ponboksほか
12/8(金) - 10(日) 16:30-21:30
象の鼻パーク、象の鼻テラス | MAP-D
無料 主催: 象の鼻テラス

MAP-D

アートの創造性で「公共空間」の新しい使い方を提案する「ZOU-NO-HANA FUTUREScape PROJECT」。2023年のテーマは「ナイトアウト」。アーティスト、大学、クリエイター、ミュージシャンなど多様な主体が提案する夜の公共空間の楽しみ方を通じて、特別な体験や時間をお過ごしください。

Photo: Hajime Kato + Ayami Kawashima

IMPERIAL APARTMENT GALLERY 1930

Artist: 倉知朋之介
12/8(金) 15:00-20:00・9(土) 12:00-20:00
インペリアルビル 1F ギャラリー | MAP-F

MAP-F

1930年に外国人用のアパートメントとして水町通りに建設されたインペリアルビル。ビルを愛する方、横浜で長く商いをされている方のご協力のもと、1930年以降のビルの世界観や、オーナーが営んでいたシャツ屋さんの再現など、水町通りの歴史・雰囲気を感じられる展示を行います。
協力: インペリアルギャラリー

ワインドウ・ギャラリー

Artist: 池亜佐美 小光 西野朝来
12/8(金) - 17(日) 17:00-21:05
エキスポポート(シルクセンター1F 水町通り側)、産業貿易センタービル(水町通り側1F&9F)、ワークピア横浜(1F 出入口)、神奈川県民ホール(水町通り側1F)、ローマステーション(水町通り側1F)、横浜マリントワー(水町通り側2F) | MAP-G

MAP-G

「水町通り」を知ることで、横浜の夜のまち歩きをもっと楽しむためのトークイベント。会場周辺にある横浜開港資料館、神奈川県近代文学館、大佛次郎記念館の専門家が、その歴史、文化についてお話しします。
協力: 横浜マリントワー

Photo: 小光

神奈川県民ホールギャラリー企画展 「味/処」ウインドウ・ギャラリー

Artist: 倉知朋之介
12/8(金) - 2024/1/27(土) 味登庵本店の営業時間に準ずる
味登庵本店 ショーウインドウ | MAP-Q

MAP-Q

「味(趣や情緒)」と「処(空間やシーン)」をテーマにした、神奈川県民ホールギャラリー企画展「味/処」。出品作家・倉知朋之介が、製麺工場への取材を経て制作した新作の映像作品を、味登庵本店のショーウインドウで先行展示します。
*会期: 12/17-2024/1/27 休館日: 毎週木曜日 & 年末年始(12/30-1/4)

夜にあらわれる光の横浜 (ヨルノヨ 2023)

11/27(日) - 2024/1/4(日) 17:00-21:05
横浜都心臨海部(新港中央広場、横浜港大さん橋国際客船ターミナル、山下公園ほか)
無料 主催: クリエイティブ・ライト・ヨコハマ実行委員会
共催: 横浜市 連携: クリエイティブ・ライト・ヨコハマ推進協議会

MAP-Q

新港中央広場や横浜港大さん橋国際客船ターミナルでの大規模なプロジェクションマッピング、街全体が光と音楽にあわせて躍動するスペクタクルショー「ハイレイト・オブ・ヨコハマ」など、冬の夜に美しい光の横浜があらわれます。https://yorunoyo.yokohama/

イルミネーション・ヨコハマ 2023 ~横浜の未来が輝く~

12/1(日) - 31(日) 17:00-21:05
山下公園 主催: 山下公園通り会
共催: クリエイティブ・ライト・ヨコハマ実行委員会

MAP-Q

山下公園・おまつり広場を中心に新しいライトアート作品と音のコラボレーションを展開し、山下公園通り・イチョウ並木のイルミネーションにより光のプロムナードを出現させます。

馬車道プロジェクション

12/5(日) - 8(水) 18:00-21:00
神奈川県立歴史博物館
主催: 東京藝術大学大学院映像研究科
クリエイティブ・ライト・ヨコハマ実行委員会

MAP-Q

神奈川県立歴史博物館(国指定重要文化財)の馬車道駅口の壁面に、東京藝術大学大学院映像研究科の学生・修了生が制作したアニメーション映像を投影します。重要文化財と映像が織りなすアートを、足をとめてご鑑賞ください。

YOKOHAMA MUSIC HARBOR 2023 2023 CHRISTMAS

12/9(土) - 16(金) 各日 13:00-22:00(コアタイム)
みなとみらい21地区を中心とした横浜都心臨海部全域
無料 ※一部有料

MAP-Q

企画総合プロデュース: びあ株式会社
2023年度公益信託みらい21まちづくりトラスト認定助成イベント
横浜都心臨海部を音楽の力で盛り上げるスペシャルイベント。クリスマス時代の横浜を、音楽を感じながら楽しむ企画を多数開催します。ホテルニューグランドや横浜マリントワーも会場になります。
※詳細は同イベントのウェブサイト(11月下旬公開)から

BALLPARK FANTASIA

12/9(土) - 17(日) 昼の部: 10:00-16:00 / 夜の部: 17:00-21:00
※横浜公園内実施時はコンテンツにより異なります。
横浜スタジアム / 横浜公園
無料 ※一部有料
主催: 株式会社ディー・エヌ・エー / 株式会社横浜スタジアム

MAP-Q

今年のテーマは「おもちゃ」。横浜スタジアムが子どもから大人まで楽しめる、特別な場所に変身。昼間はアクティブに遊ぶ空間に、夜はディスコのような雰囲気音楽とイルミネーションをお楽しみいただけます。横浜公園でもキッチンカーなどさまざまなコンテンツを展開予定。※詳細は同イベントのウェブサイトから

MIZU NO MACHI



Guide Map



- [水の町プロムナード 会場案内]
- Ⓐ: ヨルは子どもでみなハシャぐ | 12/8-10
 - Ⓑ: ZOU-NO-HANA FUTUREScape PROJECT 2023 SPECIAL LIVE "THE PARK" | 12/9
 - Ⓒ: ZOU-NO-HANA FUTUREScape PROJECT 2023 SPECIAL LIVE "Choro Club" | 12/16
 - Ⓓ: 滞在時間 meets たまくす | 12/15(16)
 - Ⓔ: 翼をくださいな | 12/16,17
 - Ⓕ: IMPERIAL APARTMENT GALLERY 1930 | 12/8,9
 - Ⓖ: ウィンドウ・ギャラリー | 12/8-17
 - Ⓗ: トークイベント「獅子文六と大佛次郎の散歩した水町通りの歴史と文化」 | 12/13
- [連携企画 会場案内]
- ①: ZOU-NO-HANA FUTUREScape PROJECT 2023 | 12/8-10
 - ②: 「味／処」ウィンドウ・ギャラリー | 12/8-1/27
 - ③: YOKOHAMA MUSIC HARBOR 2023 CHRISTMAS | 12/9,16
 - ④: BALLPARK FANTASIA | 12/9-17
- ◆: 夜にあらわれる光の横浜 (ヨルノヨ 2023) | 11/27-1/4
 ☆: イルミーヌ・ヨコハマ 2023 ~横浜の未来が輝く~ | 12/1-31
 ○: 馬車道プロジェクション | 12/5-8

- 🚗: みなとみらい線駅
 - 🚕: タクシー乗り場
 - 🚰: お手洗い
 - 🏠: 公園・広場
 - 🎭: 劇場・ホール
 - 🛏: 宿泊施設
 - 🖼️: ウィンドウ・ギャラリー
- ・本マップをみながらの歩行は大変危険です。立ち止まってご覧ください。
 ・イベント内容は予告なく変更する場合があります。
 ・イベント開催時間は前後する可能性がございます。
 ・会場内・外で発生した事故・盗難などについて、主催者・会場・参加アーティストは一切責任を負えませんので、ご了承ください。
 ・お手荷物、貴重品は各自で管理をお願いいたします。
 また、危険物の持ち込みは固くお断りいたします。
 ・会場間の移動の際、車や自転車などにお気を付けてください。
 ・スタッフの案内や指示、注意事項に従っていただけない場合、安全を考慮し、イベントが中止になる場合がございます。
 ・不可抗力などにより実施不可能と判断された場合は、中止することがございますので、ご了承ください。
 ・各プログラムや街並み、飲食など、横浜の夜をどうぞご堪能ください。

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| 1 cafe&shop kaguya カフェ・喫茶 | 6 THE HOF BRAU ビアホール |
| 2 カンファーツリー レストラン | 7 ローマステーション イタリアン |
| 3 ハワイアンレストラン サンアロハ カレー | 8 バー スリーマティーニ バー |
| 4 スカンディヤ レストラン | 9 ホテルニューグランド レストラン&バー |
| 5 味奈登庵 総本店 そば | 10 mizumachi バー |

※広報にご協力いただいている、水の町プロムナード会場に面した飲食店を掲載しています。